

# 宮川の風 第70号

平成30年12月14日（金）発行  
宮川小学校校長室からのたより

自由と民主主義の国と仰がれるアメリカの、恥部といえるのが人種差別である。遠い昔の話ではない。1960年代になっても白人と黒人を厳しく隔てる差別が南部にあった。通う学校から飲食店、水飲み場、バスの座席もベンチも二分され、結婚も禁じられていた。「神が黒人を罰するために、白人とは違う姿にお造りになった」と言う州知事さえいた。

そうした抑圧の時代、雲間から差す光のように降りてきた言葉が「私には夢がある

(I Have a Dream)・・・」だった。キング牧師の歴史的な演説から、今日で50年になる。

「私には夢がある。いつの日か、あのジョージアの赤い丘の上で、かつての奴隷の息子と、かつての奴隷所有者の息子とが同じテーブルに座れる日の来ることを・・・」。言葉の力と輝きを、ここまで高めた演説はまれだ。(後略)

(H25.8.28 朝日新聞 天声人語より)

私は、日常生活の中で「人権」を意識することはほとんどありません。それは、自身の人権が守られている社会にいるからです。しかし、私たちの回りでは、人権を侵害されながら生活している方々がいるのです。私たちは、正しい人権感覚を身に付け、自分や自分の周りの人の人権を尊重する生き方をしなければなりません。そして、何が尊いことなのかをしっかりと捉えながら生きていくことが大切です。

裏面の記事をお読みください。

心のどこかにある自分自身の差別意識をしっかりと見つめながら、差別をなくす高い意識をもっていきたいものです。そして、内面の美しさを身に付けたいものです。

12月10日は「世界人権デー」でした。今なお残るさまざまな人権問題が一日も早く解決することを願いながら、今年一年を締めくくりたいものです。

## ある日のできごとから



4年2組の子どもたちが、市の小学校音楽会に出場しました。市民文化ホール第2で行われたこの催しには、これまでも毎年4年生が出場してきました。今回は、29人の子どもたちが、リコーダー演奏と合唱「10才のありがとう」を発表しました。「せごどん」のテーマにのって力強く入場し、台詞を交えながら演奏や合唱へと進んでいきました。

合唱では、最初に4人の子どもたちがステージの真真中で堂々と歌を披露しました。聞くと、4人は自分から立候補してその役を勝ち取ったそうです。他にも希望者はいたそうですが、今回は4人だけの枠だったそうです。

私は、すごい度胸だなと思いました。何事にも引込み思案な私などは、とてもじゃないですが大勢の人の前で歌うことなんかできません。それも、知らない人ばかりの前で。

すばらしいことだと思います。これからがますます楽しみに感じます。物怖じせずに何事にも積極的にチャレンジして、自分の力を伸ばしていく子どもたちであってほしいと願います。

ちなみに、リコーダーの音色といい、ミッキーの声での合唱といい、実に美しい発表でした。

平成30年は、みなさんにとってどのような一年だったのでしょうか。また、子どもたちはどのような成長を見せてくれたのでしょうか。

平成31年がそこまでやってきています。新しい元号も5月には発表されるようです。来年も子どもたち、そして、皆様方にとって素晴らしい年になることを祈っています。来年もよろしくお祈りします。

今年の「宮川の風」は、この70号で終わらせていただきます。次回は、1月11日（金）発行の予定です。

2学期、そして、平成30年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)